

# あすの調布

ASU no CHOFU  
2017  
元旦号

2017年公益社団法人調布青年会議所スローガン

伝えようこの街の魅力き ～縦と横の繋がりを生かして～

謹賀新年



JCI  
Junior Chamber International Japan  
CHOFU

新年明けましておめでとございます。  
本年度もよろしくお願ひ致します。

昨年は川端理事長のもと副理事長を務め、2委員会を担当しました。慌ただしい毎日でしたがタイプの違い2委員会を担当することが、私にとって多くの学ぶべきことがあり、吸取出ることもたくさんありました。日常の業務を抱えながら明るい豊かな街を目指して自ら運動を起こす青年会議所の運動は、楽しまなければ思うような運動を起こすことができません。昨年の意思を引き継ぎ、本年度も青年会議所運動を楽しみましょう。

今年度、私は事業を計画するに当たり3つの柱を考えました。一つ目の柱は、調布青年会議所が45周年に掲げた中長期ビジョンを達成です。2019年、2020年に開催される世界的なスポーツイベントは、全国、世界から多くの人が調布を訪れます。そのために調布市の魅力を伝え、地域でスポーツイベントを理解し楽しみ、観光客が安心して訪れることができる仕組みを作らなければなりません。45周年に掲げたテーマ、調布に恋する市民あふれるまちへ、世界に誇れる調布のために、を実現するために周囲の地域団体を巻き込み、青年会議所らしい事業を展開していきましょう。

二つ目の柱は公益制度に対する理解の普及と組織再確認です。公益法人格を取得したものの、青年会議所運動を展開している、今保持している公益制度の仕組みを理解しきれず、時には負担に感じることがあります。本年度は公益法人を持つ利点をメンバー間で勉強したいと考え、二つ目の柱に上げました。

三つ目の柱はメンバー同士の結束力を高めることです。今の青年会議所の仕組み、委員会の枠を越えて交流する事業が少なくなり、メンバー間の結束力が弱くなっているように感じます。大きな目標を掲げ、運動を起こす青年会議所は、メンバー間の結束力を高め、一丸となり目標に向かっていくことが大事です。現状のままでは青年会議所の特性である人と人の繋がりを生かし切れていません。例会で交流を深めるのはもちろん、委員会同士で積極的に自分たちが考えた事業をPRし合い、自分の思いを伝え交流を深めましょう。

人其々抱えているもの、背負っているものがあると思いません。しかし、活発に動ける20代、30代だからこそ出来る事もあります。仕事、家庭、JC、精一杯時間を調整して動いて、1年後振り返った時に思い出される1年にしましょう。また、その運動に賛同してくれる仲間を一人でも多く増やし、活気あふれる調布青年会議所をみんなで作りましょう。

1年間宜しくお願ひします。

第47代 理事長 瀧柳伸央

# 本年度の抱負

副理事長 畑野 政大  
 拡大委員会

(日本JIC 教育再生グループ教育再生会議 委員)

新年あけましておめでとうございます。本年度、副理事長を仰せつかり拡大委員会を担当させていただきます。会員数の減少に伴い委員会の役割を考えれば、組織内外に於いての責任は重大であります。委員会を担当する副理事長として自分自身今まで積み上げてきた経験を生かし、今後調布青年会議所に必要な人財を増やし、そして正しい方向へと導きたいと思っております。また、自分自身が40歳を迎え、ラストの年ということもあり、ひとつ、ひとつこの時を大切に心に刻みながら1年間運動していきたいと思っております。

副理事長 巴山 勝濟  
 青少年委員会

(東京ブロック協議会 アカデミー研修委員会 副委員長 兼 塾長)

新年あけましておめでとうございます。私にとって昨年は初めて年間を通して調布JICに関わった1年間でした。非常に辛く重たい時もありましたが、それを仲間と共に切磋琢磨し乗り越えることで、「Fun」を体現する事が出来ました。今年には瀧柳理事長が掲げる「縦と横の繋がりを生かして」をメンバーと共に体現できるような事業を組み立てていく下支えをしていきたいと思えます。やっとな先が見えてきたJICライフを自己満足に終わらせることなく、調布JICを盛上げていき、それが地域を盛上げて行ける運動発信をしていきたいと思っております。

副理事長 高橋 秀幸  
 まち委員会2017

(東京ブロックオリンピック応援委員会 委員)

2017年度は、副理事長という大役を拝命いたしました。初の副理事長職となりますが、正副メンバーとしても、委員メンバーとしても、自分の役割をしっかり和果たせるよう、1年間頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

初理事という事で新たに学ばせて頂くことがたくさんあります。諸先輩方に於かれましてはご指導ご鞭撻賜りたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

まちづくり委員会2017 委員長 渡邊 涼介

あけましておめでとうございます。当委員会は、ラグビーワールドカップ、東京オリンピックに向け、日本、そして世界に、調布の魅力、文化、伝統を発信させていただきます。縦と横の繋がりを生かし、シニアの諸先輩方の力をお借りしながら、両副委員長をはじめとする委員会メンバー一丸となつて、調布の魅力発信の礎を築いていきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いたします。

まち委員会2017 副委員長 大澤 宏章

(東京ブロック協議会 アカデミー研修委員会 幹事)  
 (東京ブロック協議会 防災減災推進委員会 委員)

新年明けましておめでとうございます。旧年中は新入会員として会員開発交流委員会2016で大変お世話になりました。素晴らしいメンバーに囲まれ、得がたい経験をさせて頂いたことに感謝申し上げます。さて、本年度は卒業生としての一年となり、自分に何ができるか考えていたところ、渡邊涼介委員長から、まち委員会副委員長のお誘いをいただき、二つ返事で引き受けた所存でございます。調布は高校時代から係わりようになり、現在は住まひも仕事も調布市内です。瀧柳理事長肝いりのまち委員会として、自分の経験を活かす、調布のまちをより良く、一年間尽力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

まち委員会2017 副委員長 加藤 ゆか

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年度まち委員会2017の副委員長を務めさせていただきます。加藤ゆかと申します。入会して4年目、初めての理事でわからないことだらけですが1年間しっかりと勉強させていただきます。あと卒業まで10年ほど続くJIC活動に生かしていきたいです。私は小学生の子どもがいて皆様と同じようには活動できないことも多々あるかと思っております。自分のできる形のJIC活動を見つけていきたいと思っております。委員会・例会では子連れ参加となりご迷惑をかけてしまいますが、暖かく見守っていただければ幸いです。1年間宜しくお願いいたします。

総務委員会2017 委員長 境屋 奈央子

明けましておめでとうございます。本年度の総務委員会2017は明るく活気ある調布JICの魅力を地域の多くの方々に伝わるよう発信してまいります。合わせて地域の魅力も発信して行きたいと思っておりますので、1年間どうぞ宜しくお願い致します。

拡大委員会 委員長 遠藤 大貴

(東京ブロック大会運営委員会 委員)

あけましておめでとうございます。新年どうぞよろしくお願いたします。今年は理事長を中心にメンバー全員が拡大に注力します。調布JICも以前100名LOMでしたが、今年のスタート人数が50名弱だからです。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて100名LOMに戻します。拡大委員会では入会に向けて迅速に対応しますので、入会候補者のご紹介を何卒よろしくお願いたします。

会員開発交流委員会 副委員長 佐保田 豊太

(日本JIC 教育再生グループ教育再生会議 委員)  
 (東京ブロック協議会 拡大交流委員会 委員)

新年あけましておめでとうございます。本年度拡大委員会の副委員長を務めさせていただきます。遠藤委員長以下力強い仲間と共に新しいメンバーを多く迎え入れたいと思っております。昨年一年はゆつくりと自身の仕事とプライベートを見直すことができました。35歳にして、一人の高校生アイドルを全力で応援する趣味を開拓致しました私ですが今まで経験することのなかった新しいものに触れる恐怖不安の先に知る術もなかった喜びと感動があるのだと日々勉強の毎日です。本年度も様々な角度から自分を見つめ直し感謝できる心を常に持ち合わせたいと感じております。皆様と共に感動できたらと思っておりますので、本年度もよろしくお願申し上げます。

会員開発交流委員会 副委員長 林 慎一郎

(東京ブロック大会運営委員会 副委員長)

シニアクラブならびにメンバーの皆様、新年あけましておめでとうございます。本年度、初理事として会員開発交流委員会の副委員長をさせていただきます。2年目となる本年、遠藤委員長よりお誘いを受け不安な気持ちも大きかったですが、頼まれたことは断らないと決めた一年でしたので快く受けさせていただきました。

約50名のスタートとなりましたが、スローガンにあります、縦と横のつながりを生かし、更なる会員拡大に努め、OBやメンバーとのつながりを意識していきたいと思っております。また、有難いことに東京ブロック大会運営委員会の副委員長としても出向させていただきますことになり、自分自身はもちろん、活気あ

総務委員会2017 副委員長 薄井 麻希子

(東京ブロック大会運営委員会 幹事)

皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年度、総務委員会副委員長を務めさせていただきます。

入会から早四年、人見知りの上に、幽霊部員に片足を突っ込んでいた小職でありましたが、瀧柳理事長の下、微力ながら縁の下の力持ちとして日々取り組んでいく次第です。

瀧柳理事長が掲げるスローガン「伝えようこの街の魅力を」と縦と横の繋がりを生かして、「とあるように、JIC運動を通し、地域の絆や人のつながりを大事にし、また、一度立ち止まって青年会議所の理念をしっかり学ぶ一年にしたいと思っております。不慣れな点等ございますが、一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

総務委員会2017 副委員長 粕谷 洋亮

(東京ブロック協議会 アカデミー研修委員会 幹事)

あけましておめでとうございます。本年度、境屋委員長のもと総務委員会2017で副委員長を務めさせていただきます。

総務委員会ではHP管理やあすの調布発行、総会の設営といった調布JICメンバーの運動を一年間通してサポートさせて頂きながら、年初の新春地域懇談会を担当させて頂きます。新春地域懇談会では、シニアクラブの諸先輩方の協力も仰ぎながら、メンバー一丸となって取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。

専務室 専務理事 増田 健治

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年度専務理事を務めさせて頂きます。増田健治です。

「小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています」

これは日本が誇るメジャーリーガー、鈴木一朗選手の言葉です。専務理事という役職は、組織を下支える細かい業務の多い職です。しかしながら、その一つ一つの思いを込めて丁寧に行い、一段一段積み重ねていくことが非常に重要で、それが組織全体に伝播したとき、初めて本当の意味での専務理事としての組織運営につながると思っています。

一年間、自分の思い描く専務理事像に少しでも近づけるよう、役職に徹し組織に殉じて参ります。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

副専務理事 宮澤 学

総務委員会2017

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年度、副専務理事を務めさせていただきます。専務室メンバーとして瀧柳理事長を支え、また、総務委員会担当の理事として境屋委員長率いる総務委員会を支え、頑張つて参ります。皆様、よろしくお願いたします。



る調布をアピールしてきたいと思えます。本年度も変わらぬご指導ご鞭撻の程、よろしくおねがいたします。

青少年委員会 委員長 熊倉 亮

公益社団法人調布青年会議所では1986年の第1回開催から継続事業として行われており、前回大会ではおよそ200人という多くの子供たちが集い賑やかに開催することが出来ましたが、わんぱく相撲調布場所も第29回目を迎えるようとしていきます。子供たちが本大会に参加することにより、汗をかきながら体をぶつけ合い、痛みを感じ、負けることの悔しさを経験し、勝利への喜びを感じつつも敗者のことを思いやる気持ちを持つことの大切さを知り、仲間や家族と共にスポーツを通じて、これを支えてくれる家族への感謝の気持ちを伝え、また大会を通じても大切なこの時期に、仲間と共に礼儀や礼節を学ぶことは非常に重要な要素であると考えます。

本年度、この事業に携わらせて頂けることを委員一同誇りに思い、一生懸命取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻と共に協力の際、よろしくお願致します。

青少年委員会 副委員長 志村 郷親

(日本JIC 教育再生グループ教育再生会議 委員)

新年あけましておめでとうございます。

私は昨年度の1月に入会させていただきました。調布という街、青年会議所を学ばせていただきました。今年には青少年委員会を担当させていただきますことになり、「わんぱく相撲」そして、「青少年が未来へ向けて夢を抱く」事業を開催させていただきました。瀧柳理事長が掲げていらっしゃる「スポーツツウリズム」の振興に邁進してゆく所存でございます。

財務担当理事 峯水 延浩

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は例会事業をはじめとして様々な場面で皆様よりお力添えを頂き、無事に一年を終えることができました。深く感謝御礼申し上げます。

これまで拡大、広報、まちづくりを経験し、入会4年目にして財務の役割を仰せつかりました。予算は事業の方向性を決める大きな要素であり、メンバーの会費を預かり、事業において適切に執行する大きな責任を感じているところであり、公益制度の正しい理解をはじめとして、青年会議所運動の効果を最大限に発揮できるよう各委員会をサポートしながら邁進する所存でございます。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

監事 菅 寛人

(日本JIC 教育再生グループ教育再生会議 委員)  
 (東京ブロック協議会 顧問)

本年より監事を仰せつかりました。監事は株式会社における監査役に相当する役員として、理事の皆様職執行を監査する立場です。同じ組織の仲間たちが切磋琢磨している様子を俯瞰する視点が必要になりますし、必要であれば意見をしなければなりません。瀧柳理事長が掲げる「伝えようこの街の魅力を」と縦と横の繋がりを生かしながら、具現化すべく、先輩監事の高橋監事に学びつつ、微力ながら全力で(口うるさく)務めさせていただきますと考えております。一年間、どうぞよろしくお願いたします。

監事 高橋 裕二

(日本JIC 教育再生グループ教育再生会議 副議長)

新年おめでとうございます。昨年に引き続き監事職としてLOMの活性化、健全化に注力して参ります。

また、出向先では副議長として、日本JICが推奨する教育プログラムを全国へ浸透させることに挑戦してみます。

直前理事長 川端 宏志

(東京ブロック大会運営委員会 委員)

新年明けましておめでとうございます。昨年2016年は理事長として現役シニアの皆さんに大変お世話になりました。本年は直前理事長として瀧柳理事長をそしてこの青年会議所運動を今までの経験を活かし、全力でサポートしていきたいと思っております。また、現役在籍最長となり、目の上たんこぶにならないよう気をつけてサポートしていきたいと思っております。

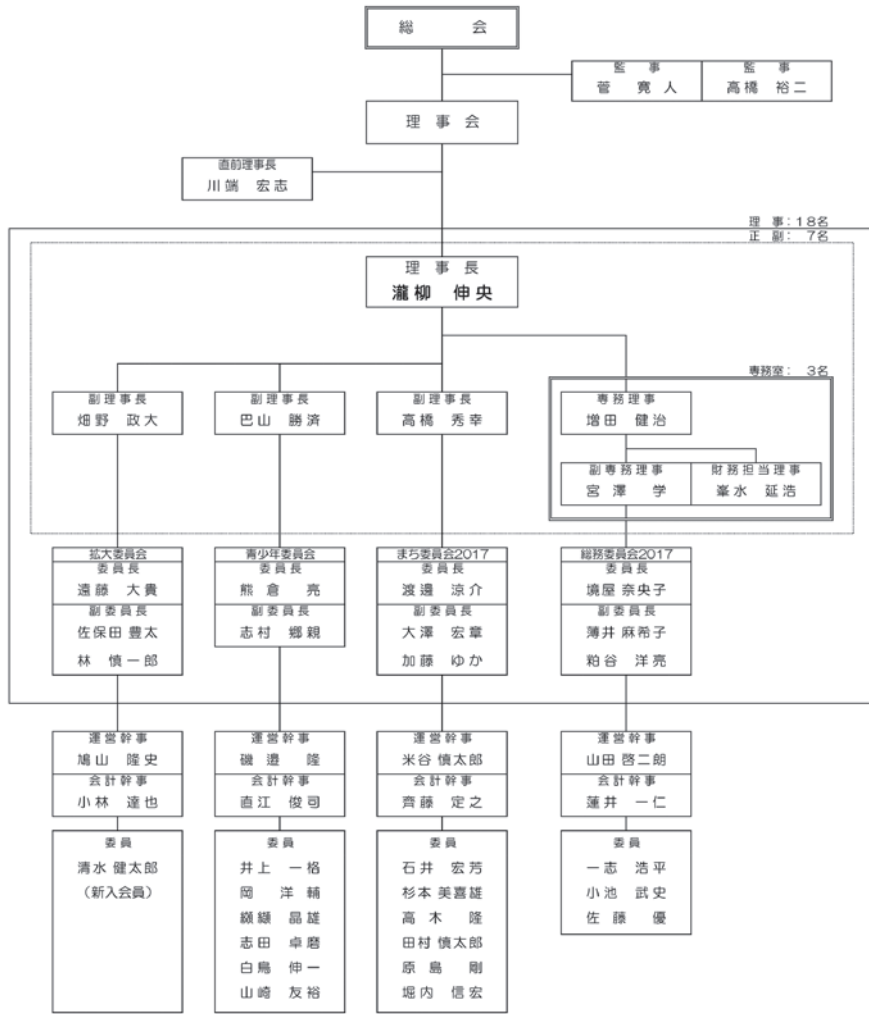
2019年2020年に向けて本格的に街が動き出すであろう2017年。瀧柳理事長の下、メンバー一丸となつて全力で取り組んでいきたいと思います。



## 事業計画

|   |  |
|---|--|
| スローガン   |  |
| 伝えようこの街の魅力を ～縦と横の繋がりを生かして～  |  |
| 基本方針  |  |
| <p>◎街の魅力を伝えるスポーツツーリズムの振興。<br/>                 ◎未来へ向けた夢を抱く青少年の育成。<br/>                 ◎新たな人材の発掘とLOMの結束力の強化。<br/>                 ◎次代につなげるための公益制度に対する理解の普及と組織再確認。</p>   |  |
| 拡大委員会   | 総務委員会 2017   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● シニアクラブ合同例会の開催（共益事業）（4月）</li> <li>● メンバーの親睦を深め、メンバーの結束を高める例会の開催（共益事業）（7月）</li> <li>● 卒業例会・納会の開催（共益事業）（12月）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新春地域懇談会の開催（共益事業）（1月）</li> <li>● 定時総会・臨時総会の開催（2、9、12月）</li> <li>● 事務局管理</li> <li>● 会員名簿作成・管理・更新</li> <li>● あすの調布の発行<br/>（年数回・紙媒体および電子媒体）</li> <li>● HPの改善・管理・更新</li> <li>● 理事会議事録作成</li> <li>● 発送作業の管理・実施</li> </ul> |
| まち委員会 2017  | 青少年委員会   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2019～2020年に向け調布の魅力、文化、伝統を発信する例会の開催（共益事業）（6月）</li> <li>● 青年経済人会議の実施（共益事業）（11月）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● わんぱく相撲調布場所の開催（共益事業）（5月）</li> <li>● 2019～2020年に向けて青少年が夢を抱く例会の開催（共益事業）（10月）</li> <li>● 調布市福祉まつりへの参画（12月）</li> </ul>   |
| 専務室   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● LOM運営に関する事項                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の管理</li> <li>・理事会、スタッフ会の運営</li> <li>・正副会議の運営</li> <li>・財務管理</li> <li>・会員管理</li> <li>・出向者等の連絡と管理・対応</li> <li>・日本本会、ブロック事業に関すること<br/>（京都会議、会員大会、サマコン、全国大会、会員会議所会議）</li> <li>・他団体との連携に関すること<br/>（後援、共催、予算執行、連絡調整など）</li> <li>・公益法人として東京都への事業申請、報告</li> <li>・定款、運営諸規定等の改訂補佐</li> <li>・褒賞申請補佐（日本JC、ブロック）</li> </ul> </li> <li>● 公益制度について考える例会の開催（共益事業）（3月）</li> </ul> |  |

公益社団法人調布青年会議所 2017年度 組織図



公益社団法人調布青年会議所 2017年度

事業計画予定表

| 月  | 日          | 事業   | 担当                            |
|----|------------|--|-------------------------------|
| 1  | 9<br>19~22 | ★例会 (新春地域懇談会)<br>◇東京ブロック合同公式訪問 (立川)<br>◇京都会議 (京都)              | 総務委員会 2017<br>専務室<br>専務室      |
| 2  | 11         | ★例会 (定時総会)<br>◇アカデミー開校式  | 総務委員会 2017<br>専務室             |
| 3  |            | ★例会 (公益制度について考える例会)  | 専務室                           |
| 4  |            | ★例会 (シニアクラブ合同例会)<br>◇関東地区フォーラム                                 | 拡大委員会<br>専務室                  |
| 5  | 28         | ★例会 (わんぱく相撲調布場所)<br>◇東京ブロック大会 (三鷹)                             | 青少年委員会<br>専務室                 |
| 6  | 8~11       | ★例会 (調布の魅力文化伝統を発信する例会)<br>◇ASPAC (モンゴル)<br>◇わんぱく相撲東京都大会 (東久留米) | まち委員会 2017<br>専務室<br>青少年委員会   |
| 7  | 22~23      | ★例会 (メンバーの親睦・結束を高める例会)<br>◇サマーコンファレンス (横浜)                     | 拡大委員会<br>専務室                  |
| 8  |            | ◇関東地区大会  | 専務室                           |
| 9  | 28~1       | ★例会 (臨時総会)<br>◇全国大会 (埼玉)                                       | 総務委員会 2017<br>専務室             |
| 10 | 23         | ★例会 (青少年が夢を抱く例会)<br>◇東京ブロックさよならブロック<br>◇アカデミー開校式               | 青少年委員会<br>専務室<br>専務室          |
| 11 | 6~10       | ★●例会 (青年経済人会議)<br>◇世界会議 (オランダ)<br>◇ありがとう関東地区                   | まち委員会 2017<br>専務室<br>専務室      |
| 12 | 3          | ★第一例会 (臨時総会)<br>★第二例会 (卒業例会・納会)<br>◇参画 (調布市福祉まつり)              | 総務委員会 2017<br>拡大委員会<br>青少年委員会 |

- ★印は (公社) 調布青年会議所の例会 (年12回)
- 印は (公社) 調布青年会議所の共催事業 (年1回)
- 印は (公社) 調布青年会議所の参加・参画事業 (年1回)
- ◇印は (公社) 日本青年会議所 (東京ブロックを含む) の事業 (年14回)

# シニアクラブより

調布青年会議所シニアクラブ

会長 日比生 信義



あけましておめでとう  
ございます。  
皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2017年、市内で建設中の武蔵野の森総合スポーツ施設メインアリーナ、サブアリーナが完成し、味の素スタジアムを合わせた多摩地域のスポーツ拠点として整う事になります。工事が終わればハコは整います。しかし、オリンピック・パラリンピックの大会終了後もそれが、レガシー、となるには施設建設だけでは不十分です。それには私たち市民が、大会の担い手として参加することや、自らスポーツを行ったり、楽しんでいたりすることが欠かせません。次はいよいよ私たち市民の出番なのです。

このような中、公益社団法人調布青年会議所は、40歳までの若者によって構成され、調布のまちづくりのリーダーとしての役割を期待されています。地域が変革していく時、若い人たちが柔軟なアイデアとその行動力をもって、きつと新しい風を吹かせてくれる事でしょう。調布青年会議所シニアクラブは、彼らの一番の応援団として支えていきます。皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



## じゃがいもクラブ (ゴルフ部) 会長 巴山勝済

今年度、じゃがいもクラブの会長を務めさせていただきます巴山勝済です。年4回の開催を予定しています。ゴルフコンペを通して現役・シニア会員相互の親睦を図ることを目的としています。本年度も皆様のご参加、心よりお待ちしております。

## バタータ (フットサル部) キャプテン 大澤 宏章

今年度よりキャプテンに任命されました。フットサルを通してシニア倶楽部の諸先輩方との交流と、健康増進を目的に楽しく活動していきます。初心者大歓迎です。是非ご参加下さい。

## ポテトクラブ (野球部) 部長 林 慎一郎

今年度、ポテトクラブ部長として巴山部長より引き継ぎました、林 慎一郎です。昨年は、3連敗というとても悔しい結果に終わりました。負けて得ることもあります。今年こそ勝ったときの喜びをみんなで味わいたいです。まず1勝！勢いで優勝！をモットーに活動していきますので1年間宜しくお願いいたします。



2017年度も引き続き、「あすの調布」を担当します総務委員会です。元旦号の発送が完了している頃には当メンバー全員が疲弊仕切っているはず。(なんせ年の瀬ですから) さて、今のところネタがないので2017年度の干支「酉年」の由来を調べてみました。因みに計算は敢えてしないで欲しいですが、私は年女であり更に厄年でもあります。厄年に強い神社があれば是非ご一報ください(切実なお願い)。内容が逸れましたが検索結果をかなり抜粋すると、酉は「とり込む」に繋がります⇒景気が上向く。なるほど、少し文字を追加してみました。

「新入会員をとり込む」⇒調布青年会議所が上向く。※大喜利でもなく切実な課題です。ここ数年、調布青年会議所の会員数も減少傾向にあることは皆さまご存じかと思えます。会員拡大は最重要課題の一つでもあります。我々の活動が地域にとって必要であると再認識していただく為にも、魅力ある広報誌を目指していきます。現役メンバー・OB諸君・賛助会員の皆様におかれましては、今後も続く青年会議所活動に一層のご協力を頂き、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

